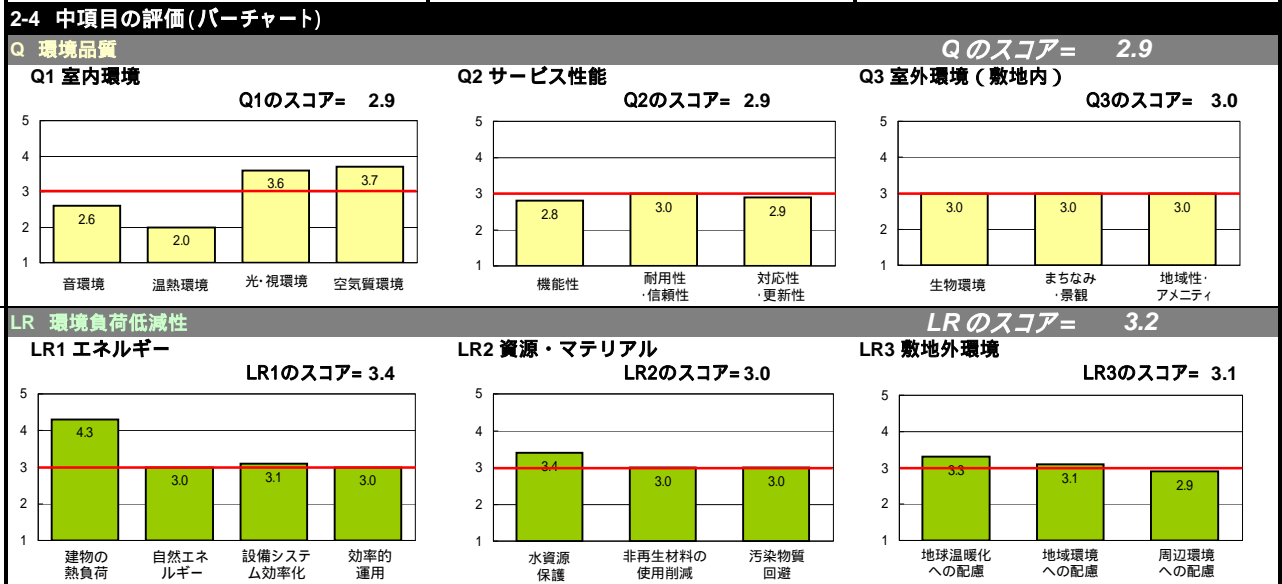
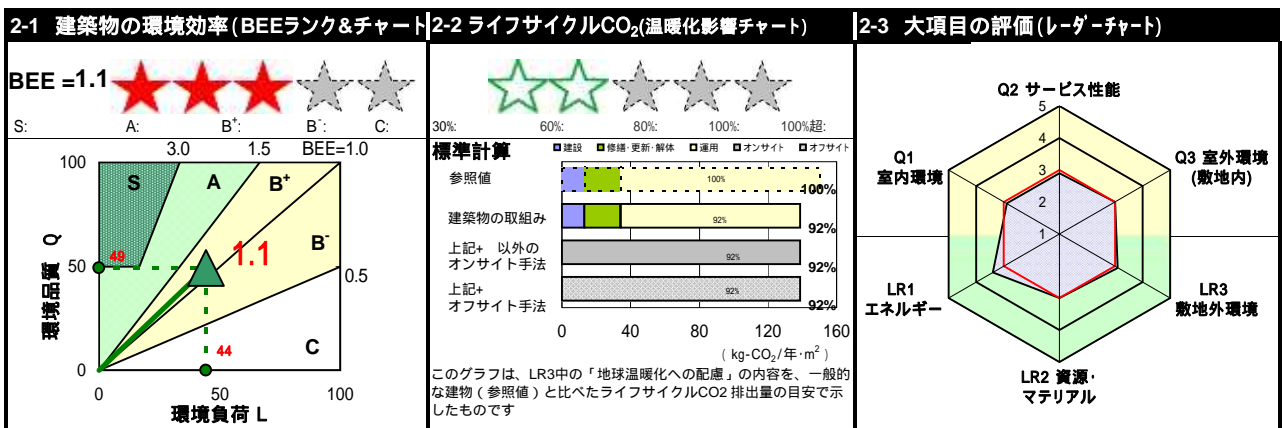


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ちがさきA・UN	階数	地上4F
建設地	茅ヶ崎市今宿字南側474番1ほか	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域、準工業地域	平均居住人員	217 人
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2012年5月 予定	評価の実施日	2012年8月22日
敷地面積	3,247 m ²	作成者	(株)新環境設計
建築面積	1,846 m ²	確認日	2012年8月23日
延床面積	6,280 m ²	確認者	(株)新環境設計



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>お年寄りから子供まで誰でも快適に過ごせる空間づくりを目指した。</p> <p>正面の既存樹木のクスノキは残しこの施設のシンボルツリーとして計画し地域に景観に配慮した。</p>	
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>調湿効果のある自然素材の珪藻土を主要な部分に使用した。</p> <p>中庭を2か所設け、自然採光、通風を効果的に取り入れ自然エネルギーの利用を図った。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>個室は10.9m²以上のゆとりのある面積とした。</p>
<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>正面の既存樹木を保存し、古くからの地域の景観を維持に努めた。</p>	<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>屋上に将来太陽光発電を設置できるように計画した。</p>
<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>パーティクルボードの使用。ハロン消化剤の使用なし。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>日影規制は周囲に配慮し、ランク上の日影規制をクリアするよう計画した。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい